



伊佐市議会だより

平成30年2月 第37号



起立採決（各議案に可決か否決か）のようす
（上）12月議会初日（12月1日）大口小6年1組 傍聴
（下） // 最終日（12月22日） // 6年2組 //



- 議会が決めた昨年の予算、成果と課題は・P2～7
- 追跡！どうなったあの一般質問・・・P23
- 議会のない月の議員活動は？・・・P25

目次

- 議案や陳情などの議決結果、国へ意見書 …… P8～11
- 議案についてたずねる …… P12～13
- 2つの常任委員会の審査の報告 …… P14～15
- 「討論」、賛成・反対が分かれた議案 …… P16
- 議員11人の一般質問 …… P17～22
- 「ぎかいのとりくみ」 …… P24
- 3月議会のスケジュール、編集後記など …… P26(ウラ表紙)

成果・課題は？今後の予算にどう生かす

議案第63号 28年度一般会計決算、決算委員会で審査



武本 進一 委員



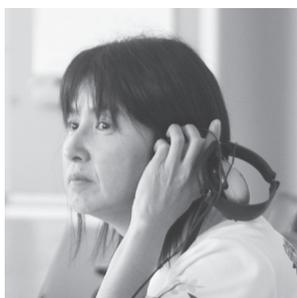
山下 和義 委員



畑中 香子 委員



緒方 重則 委員長



決算委員会を担当
事務局 長畑 孝子 主査



一般会計決算委員会の9人

10月19、20、24、25、27日の5
日間でを行い、事業や事務の
①成果はどうだったか
②課題として何をすべきか
を中心に決算を審査。

大丈夫？伊佐市の財政

【課題】「経常収支比率」※が上昇し、柔軟性が失われる結果となった。特に借金返済が今後も増えるので、この経常収支比率は上昇（悪化）していくと考えている。

※ 経常収支比率（けいじょうしゅうしひりつ）とは
経常支出（通常支出しなければならない経費）

経常収入（市税、国からもらう交付税など）

の式で求める。
伊佐市の28年度は89.9%。
この数値が上がると悪化、下がると改善

この数値が上がるほど、人件費、扶助費、公債費（借金の返済）の経常支出で精一杯で、その他の政策的な支出にまわすお金が少なくなる。

新庁舎建設、建設費のうち20億円の積立予定

新庁舎建設のための積立（特定公有財産取得基金）は毎年1億5000万円ずつ積み立て28年度残高は約11億3000万円。いつ建設するかは決まっていないが、合併推進債※を活用できる平成35年ま

でに20億円を目安に積み立てる。

※合併推進債（合併した自治体が行う整備のうち、庁舎建設など定められたものについての借入）。

障がい者がいきいきと暮らす地域活動支援センター

障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むために必要な事業である。

【成果】在宅の障がい者の活動の場を確保し、いきいきと暮らすことができる。

【課題】専門職員の配置が義務付けられているが、人材不足が見込まれているため、人材の確保が必要。



議会が決めた28年度予算



前田 和文 副委員長



岩元 努 委員



谷山 大介 委員



今村 謙作 委員

道路の管理状況は？

市道の維持管理。草払い、高木伐採作業や側溝の浚渫（しゅんせつ）…底にたまった土砂などを取り去る。

【成果】市内の道路環境が保たれる。

【課題】今後、各自治会の高齢化によって依頼件数が増えることが想定される。

自殺対策、緊急の強化

自殺対策として、講演会の実施やパンフレット等を配布し抑止啓発を行っている。

【成果】自殺対策強化月間に合わせ広報紙に自殺予防を掲載。本市の自殺者数は減少している。

【課題】若年層の自殺率が県平均より若干高いので、周知徹底をする。

ふるさと納税、8171万円

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税額）は28年度8171万円、その返礼品代の支出が3614万円であった。寄附額によって寄附者と相談し返礼品を決定している。



菱刈の小中一貫教育、授業への姿勢が変わった

菱刈中学校区の教職員全員が、学習の習慣づけなどの方針にそった指導を実践している。

【成果】小学校から中学校に環境が変わっても授業のあり方がスムーズである。また、教職員自身も刺激され考え方が変わってきている。

トータルサポートセンター、相談件数が年々増える

【成果】相談件数が年々増加している。28年度は延べ約700件の相談があった。

【課題】相談の内容が複雑なものもあり、現在の職員数では足りず、職員数を増やすことが必要。

市民協働の体制づくり！

むらづくり事業

むらづくり事業は、地域の課題を自ら解決する取組を支援する事業。各自治会・むらづくり委員会からの要望が増えてきている。

【課題】電波法の改正で平成34年以降使用できなくなる無線設備が51カ所ある。すべて改修するには市・自治会とも多額の支出になるので、複数年で分けて予算を組んでいく必要がある。

伊佐の給食は安心安全、おいしく大人気！

給食がおいしいためか、残食率が小学校で5.0%、中学校14.6%と残食が非常に少ない。1日に2100食作るが、異物の事例は年間にビニールなど9件であった。



伊佐市の給食

使いやすい地域の交通へ

ルールの周知も

乗り合いタクシー運行事業は、交通空白地域の解消を目的に予約・定時路線型で運行している。

【成果】昨年10月から菱刈地区で増便、利用者が増えた。

【課題】今後対象者に利用の際のルールの周知と、路線・運行時間帯等を検討する必要がある。

子ども医療費助成制度、

利用しやすく拡充

年間の総医療費から8万円を控除した額を助成する制度。また、非課税世帯にかぎり、医療費の月に3000円を超える額を助成。

【課題】28年度の利用者は年額助成2人、月額助成2人とどまっている。

家庭の教育力の

向上を目指して

家庭教育学級を各学校で運営している。支援として専門員を派遣し講座を開催。また、家庭教育情

報紙「親なら子なら」を年2回発行して市内に全戸配布している。

大学への進学は？

大学進学奨励金

【成果】大口高校28年度の卒業生67人のうち58人が大学や短大に進学。そのうち大学進学奨励金の交付は10人。他に編入生等が2人であった。30万円×12人の360万円。



福祉タクシー利用料助成

福祉タクシー券については高齢者障害者療育手帳等を持つておられる方々に、年間24枚（一枚500円）が配布される。

【成果】全体で4250人に配布し、使用枚数はさまざまであるが、3010人が使用。

【課題】①枚数を増やす②遠い地域に住んでいる方への対応

伊佐市経済を支える、

設備投資と雇用拡大

大口電子㈱のインク第2工場と結晶基板生産第5工場の増設に対する企業立地促進補助金

【成果】新規雇用者が17人で、今後も雇用は増えていく。



工場増設で雇用も増加、視察した大口電子第5工場

「議会が決算審査をする意義」

決算委員会委員長 緒方重則



毎年の会計決算は、まず監査委員が行った審査結果を付けた決算書類が議会に提出され、議会が審査します。

議会は何を重点に審査することが大切か。「議会が決定した予算の使われ方」も当然ですが、より重要なことは、
①事業・事務が目的に対しどれだけ成果があったか
②どのような課題があるか

①と②を翌年以降の予算編成または行政運営に反映させる、つまり予算と決算をつながりのある一つのサイクルとしてみています。

今回の28年度分会計の決算審査は、そのことを踏まえて行いました。議会として今後も決算の重要性を認識し議会活動に役立てていきたいと思えます。

各地を視察しました

①牛尾湧水処理施設

地域の水質を守る重要な役割



万全な処理で環境保全を維持

②湯之尾力カヌー艇庫（ていこ）

県内外から人を呼び込める起爆剤
になってほしい



31年インターハイと32年国体に向けて着々と工事が進む

【他の視察のところ】

- ③大口電子(株)の新しい工場
- ④原田橋（日産自動車ウラ）工事
- ⑤市営小水流団地
- ⑥市立大口中央中学校プール
- ⑦身障者施設「星空の里」
どうもありがとうございました。



委員でまとめを議論
10月27日 決算委員会最終日

こういうことを望みます

1 税金など各未収金については、徴収の取組の強化を。

2 鳥獣被害対策においては工夫を凝らした改善を。

3 木造住宅整備補助は今後とも継続を。

4 むらづくり事業は申請されたものすべての対応は難しいが、今後も市民生活に生かされるよう取り組みを。

5 教育相談事業において、「いじめ」や家庭教育の実態把握を。また、登下校の環境づくりを。

6 地域自殺対策事業において、県の相談窓口の市民への周知を。

7 28年度アップした各種がん検診の一層の受診率の向上を。

8 マイナンバー制度の事務の取り扱いがさらなる注意を。

9 菱刈中学校区の小中一貫教育の効果は出ている。さらに促進を。

議案第63号 28年度一般会計

決算の認定について

討論（とうろん）

賛成か反対の意見を発言できる

反対 決算収支の黒字、また財政調整基金残高からすると、さらに福祉に重点を置いてほしい。他にも指摘すべきことがあることから、28年度決算は認定しない。

賛成 財政調整基金は見た目の残高はあるが、将来の市の財政を考えると健全な運営が大事であり、適切な残高である。よって28年度決算を認定する。

認定か不認定かの採決

賛成5人、反対2人で

「認定すべきもの」と決定。

12月議会の初日（12月1日）の本会議で委員長が報告し、本会議では「認定」と決まりました。（本紙8ページ）

他の会計予算は？

10 / 4 総務産業委員会



第69、70号を審査

第69号 農業集落排水会計の決算

委員会採決「認定すべきもの」

農業集落排水とは？

農業用水の水質保全のため、農村地域世帯からのし尿や生活排水を処理場に集め、きれいにして川に放流すること。仕組みは公共下水道と同じ。伊佐市では菱刈の中央・北部地区及び平出水地区に行っている。

第70号 上水道会計の決算

委員会採決「認定すべきもの」

要点 上水道給水区域の計画としては、木ノ尻地区への給水拡大と富士地区簡易水道の上水道事業への統合で一通り終了となる。

要点 水道料金未収金については、給水停止を行いながら徴収強化に努めるとのことである。100%収納を求めらる。

要点 排水使用料の未収入分については、個別訪問など支払っていただくよう対応していくとのことである。100%収納を求める。



北部地区汚水処理施設（菱刈花北）
菱刈北部の排水をきれいな水にして川に放流

10 / 3 文教厚生委員会



第64～68号を審査

第68号 簡易水道（富士）会計の決算

委員会採決「認定すべきもの」

要点 31年度予定の上水道への統合に向け、30年度まで配水管布設を行っている。

また水道料金も市水の料金になることから、地元説明会などを通じ、使用者から料金変更の了承をいただいている。



家庭に水を送る配水管の埋設工事

第64号 国民健康保険会計の決算

委員会採決「認定すべきもの」

要点 各世帯への医療費通知は年6回行っている。医療費抑制効果の面からも通知回数を再度検討してほしい。

要点 今の国民健康保険税の水準で運営していくには、**医療費抑制が必須**となる。そのためには**特定検診・特定保健指導**や一般会計で行う健康づくりの取組が必要となる。

要点 医療費が上がっているのは一部には水俣病との関連性もあると思うが調査してほしい。

要点 28年度は**保険税の収納率**が上がっている。所得に応じた保険税額であり、公平に支払っていたかないといけないので、今後も他の市税と一体的に財産調査を行いながら収納率向上に努めるとのことである。

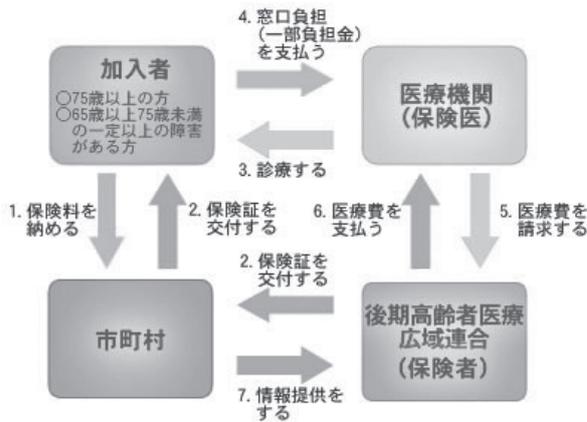


第67号 後期高齢者医療会計の決算

※75歳以上の方が加入の医療制度

委員会採決「認定すべきもの」

要点 検診についての成果として28年度受診者数が前年609人から674人に増えている。期間も3日間から5日間に増やし待ち時間も短くなりスムーズになったことも要因である。

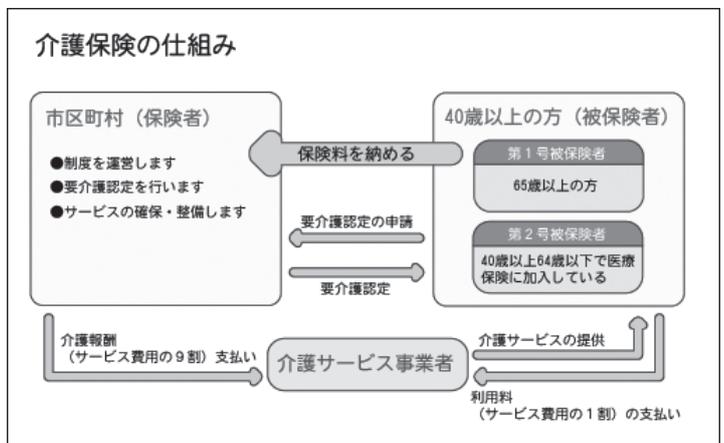


第65号 介護保険会計の決算

委員会採決「認定すべきもの」

要点 要介護3以上が特養老人ホームに入所できるが、要介護1と2の方は、場合によっては特例入所という制度もある。

要点 認知症の方への支援として認知症サポーター制度がある。認知症の人や家族への支援、解決につなげる役割である。



第66号 介護サービス会計の決算

委員会採決「認定すべきもの」

要点 介護支援専門員※の資格が5年更新になったことで、研修が必要になった。また人数を増やすため、若い世代の方にも主任資格を取ってもらうよう予算を組んでいることである。



※介護支援専門員

要支援・要介護の認定、介護サービスの計画作成、事業者との連携を行う。ケアマネージャーともいう。

第64〜70号の7議案すべて12月議会の初日(12月1日)の本会議で各委員長が報告し、「認定」と議決されました。(本紙の8ページ)

12月議会

議会の一丁目一番地、議案の審議

議案の審議とは 「議案質疑 →(委員会審査)→ 討論 → 採決」

(P12~13)

(P14~15)

(P16)

(P8~10 議案タイトル内)

9月議会では出された

各会計の決算認定議案

①各委員会の審査

(2~7ページ)



②討論(賛成・反対意見)

議案に対し可決可否決を決める前に、議員が賛成・反対の立場のどちらかで自分の意見を述べる。

議案第63号 一般会計の

28年度決算認定に対して

やるべき行政サービスを

反対 畑中 香子

①決算収支黒字や財政調整基金の残高からすると、市民の暮らしにウエイトを置いた財政支出になっていない。国の対策終了にもかかわらず、引き続き支出をしている地域同和対策や太陽光発電の土地貸付収入には反対。よって28年度決算を認定しない。

将来まで見すえた基金残高

賛成 山下 和義

実質の28年度収支は赤字、今後の地

(下段に続く)

方交付税の減少や借金返済増加を考慮すると、財政調整基金の残高はあっても、無計画な支出では、財政は破たんする。計画的な支出こそが今後の伊佐市の安心安全につながる。よって28年度決算を認定する。

子どもへの施策充実を

反対 谷山 大介

減債基金(借金返済の積立)に6億円積み立てるのであれば、子ども医療費無料化や学校冷暖房などに支出するべき。子ども安心医療費助成制度は利用しづらい要件である。よって28年度決算を認定しない。

基金は長期的計画のもとに

使用するもの

賛成 緒方 重則

財政は単年度で終わるものではない。あらゆるサービスを求めると将来の財政は危険な状態となる。財政調整基金は流動的に使用しなければならぬ。よって28年度決算を認定する。

③認定するかの採決

第63号、70号、8議案すべて

賛成多数で

認定

- 第63号 一般会計
- 第64号 国民健康保険会計
- 第65号 介護保険会計
- 第66号 介護サービス会計
- 第67号 後期高齢者医療会計
- 第68号 簡易水道会計
- 第69号 農業集落排水会計
- 第70号 水道会計



議会初日(12月1日)傍聴後

大口小6年1組のみなさん

**12月議会提出の議案
(10ページまで)**

承認

第72号 専決第5号の処分

一般会計予算の補正6号で、衆議院選挙費用の予算を計上

※専決処分(せんけつしよぶん)

議会で決定すべきことについて、緊急など特別な場合に、議会にかけず市長が決定できること。

ただし次の議会に報告して承認を求めなければならない

承認

第73号 専決第6号の処分

一般会計予算の補正7号で富士地区共同納骨堂修繕の予算を計上

同意

第74号 教育委員会委員の任命

任期満了による任命

久保田悦子氏の再任(前目)

同意

第75・76・77号

固定資産評価審査委員の選任

任期満了による選任

竹下 静雄氏の再任(里)

倉野 泰二氏の再任(川南)

桐原 茂太氏の再任(上町)

可決

第79号 国民健康保険会計

予算の補正3号

主な歳出は一般・退職被保険者給付費の増減や国への精算返納、歳入は国保連合会の高額医療費交付金増額や診療報酬基金からの交付金減額、歳入歳出とも約3187万円増額



可決

第78号 一般会計予算の

補正6号

歳入歳出ともに、

約1億2398万円増額、補正後は

総額約181億2897万円

主な歳入

① 国・県からの負担金

約1億530万円

② 障害者介護給付などに係るもの

③ 財政調整基金を取り崩し、一般会計に繰り入れ 約4800万円増額

※財政調整基金

歳出に対して歳入が不足したときに

使用するための預金のようなもので、残高はあっても将来を考えると苦しい状況に変わりはない

④ 市町村振興協会宝くじ収益配分など

約6600万円増額

⑤ 市債(借金) 1億200万円減額

市道整備に係るものなど

主な歳出

① 障害者介護給付費

約1億300万円増額

② 生活保護費の医療扶助

4800万円増額

③ 木造住宅整備補助金(29年度で終了)

1000万円増額

④ 全国和牛能力共進会に向けた優良繁殖雌牛導入や肥育技術の実証

への補助金 57万円計上

⑤ 一般廃棄物最終処分場や文化会館発電機の修繕、大口小下団地解体工事他

7000万円増額



議会最終日(12月22日)傍聴後
大口小6年2組のみなさん

可決
**第80号 介護保険会計予算
 の補正3号**

主な歳出は事務費や介護給付費増額、歳入は一般会計繰入金増額
 歳入歳出とも約705万円増額

可決
**第81号 簡易水道（富士地区）
 会計予算の補正1号**

主に市債（借金）の減額と一般会計繰入金増額の増額
 歳入歳出とも約46万円減額

可決
**第82号 農業集落排水会計
 予算の補正2号**

主な歳出は施設補修費増額、歳入は基金繰入金増額と消費税還付
 歳入歳出とも約317万円増額

可決
**第84号 災害対策本部条例の
 一部改正**

国の法律の一部改正による市災害対策基本条例の引用条項の変更

可決
**第83号 市の課設置条例の
 一部改正**

市の組織再編による課の事務の一部見直し

可決
**第85号 新市まちづくり計画
 の一部変更**

合併推進債（合併自治体が行う整備に充てる借金）が使える期間が5年延長されたため、合併推進債の活用に必要な「新市まちづくり計画」の内容を変更するもの



可決
**第86号 過疎地域計画の
 一部変更**

図書館整備事業の財源として、過疎対策事業債を使用するように「過疎地域自立促進計画」に図書購入事業を追加するもの

※過疎対策事業債（過疎地域の施設整備費などに充てる借金で、有利な条件で借入・返済ができる）

**12月20日に追加提出8議案
 すべて 可決**

※8議案すべて国家公務員の給与改定に準じたもの

第87号 伊佐市議員報酬等の条例
 特別職給与等の条例の一部改正

第88号 伊佐市職員の給与に関する条例の一部改正

第89号 一般会計の補正予算9号

第90号 国民健康保険会計の補正予算4号

第91号 介護保険会計の補正予算4号

第92号 後期高齢者医療会計の補正予算2号

第93号 農業集落排水会計の補正予算3号

第94号 水道会計補正予算2号

**請願1件・陳情2件が
 議会に出されました**

採択 請願第2号
 教職員定数改善や複式学級解消を国の30年度予算に盛り込む意見書の要請（詳細はP11）

不採択 陳情第1号
 市有地の賃貸料減額措置に関する疑惑を解明し市民に信頼される公正な市政を築くための百条委員会の設置を求める陳情書

※不採択の理由
 太陽光発電事業者の責任ではない理由による設備変更で初期投資額が倍増したため、事業継続が困難になり市有地貸付料収入がなくなることに見込まれた。よって、事業者の負担軽減として貸付料減額を行うことで事業継続が可能になり、貸付収入を確保したことは市に損害を与えてはいない。

また、林建設の当初計画では10年後に累積赤字解消される見込みから、5割減額による事業計画変更による収支見込では、赤字解消も早まることとがわかったため、5割減額貸付は妥当である。

もつとも、28年12月議会で議案111号「財産の減額貸付」が議決されたよって、この件を改めて調査する必要はない。

不採択 陳情第2号

市道湯之尾築地線の湯之元橋
～国道268号迄の歩道と「緑
の回廊」整備に関する陳情書

※不採択の理由

1 特に道幅が狭い100m区間（国道
入口～山下商店）は移転補償や用
地買収で多額の工事費用が必要。
また28年に議会の要望で外側線工
事、速度制限標識と車線規制標の
設置を行った。

2 県が行った道路整備230m区間
（菱刈公衆浴場～ゴミステーション）
は用地買収を伴わない歩道設
置。完成後、当時の菱刈町に町道
として移管しており県への要請は
困難である。

3 歩道整備の観点では、湯之元橋
～湯之尾小区間も未整備のためそ
れを含め考える必要がある。

4 他の道路整備の要望もあり、全
体のなかで優先度を検討してい
かなければならない。

5 「緑の回廊」整備は事業中断で
はなく、平成9～10年度に休憩
所・駐車場・歩道・国道への階段
などが完成し事業は完了し、「回
遊性」は保たれている。

議会に提出された請願（せいがん）

「採択」として国に意見書を提出



【請願】（※1）

番号	件名	受理 年月日	請願者	紹介議員
請願 第2号	教職員定数改善と義務教育費 国庫負担制度の2分の1復元、 複式学級解消をはかるための 2018年度政府予算に係る意 見書採択の要請について	平成29年 11月30日	霧島市隼人町内山田3丁目 3番93-13 鹿児島県教職員組合 始良伊佐支部伊佐地域協議会 議長 上淵 康	福本千枝子



伊佐市議会から国へ意見書（※2）を提出

【タイトル】「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元、複式学級解消をはかるための2018年度政府予算に係る意見書」

【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣、衆参両議院議長

【趣 旨】①教職員定数改善（教育環境改善や教職員の長時間労働改善）②義務教育費の国負担割合1／2を復活 ③複式学級解消（②③とも教育水準維持、教育の機会均等の保障）

※1 「請願」と「陳情」

市政について、市民のみなさんが市議会に対し、要望や意見を提出できる制度が「請願・陳情」です。紹介議員のあるものを「請願」、ないものを「陳情」として扱います。

「請願」は市議会で審査を行い、内容が妥当で施策に反映させるべきと判断した場合は「採択」、そうでないものは「不採択」とします。採択したら、市長や市の関係部署にその実現を要望します。

※2 「意見書」

市民の暮らしに関する問題でも、それが国や県の仕事であるため、市では解決できないことがあります。このような場合は、市議会から「意見書」を国や県に提出して改善や解決を求める、これが「意見書」です。

議案についてたずねる

12月12日 本会議5日目

発言者5人 今村謙作 森山良和

谷山 大介 畑中 香子

武本 進一

主な質疑

木造住宅整備補助金、予算追加



今村 謙作 議員



林業総務費の報償費

Q 予算を追加した内容と理由は。

A 農作物の被害防止のための鳥獣（シカ・アナグマ）捕獲を行う7つの猟友会への謝礼である。

国の捕獲計画では平成35年までに個体数半減を目標としていることから、市の今年度の捕獲計画頭数の変更によるものである。（下段につづく）

商工振興費の木造住宅整備事業

Q 1000万円予算追加の内容は。

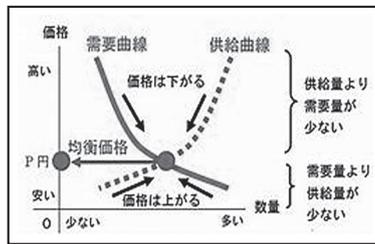
A 木造住宅整備補助金の追加補正。今年度が補助の最終年度で、駆け込み申請の可能性もあることから、市内業者に年度内申請見込件数の照会したところ、想定を上回る新築11件、増改築17件だったため、追加の計上を行った。

市民にわかりやすく、

効率・効果的な組織に再編



森山 良和 議員



野菜価格安定対策の負担金

Q 農業振興費の負担金内容と減額理由は。

A 生産者がJA、経済連を通じて出荷した野菜の価格が著しく低落した場合、基準額との差額を交付し野菜農家の経営を安定させるための基金への負担金である。市の対象品目は白ネギとかぼちゃの2品目。（下段につづく）

644万円の予算減額は、価格が安定しているため、使う見込みのない分である。

市営住宅の工事業

Q 住宅管理費の工事業の内容は。

A 大口小の下団地の解体と敷地造成、針持笠松住宅解体による井戸・ポンプ撤去、山田団地1戸の解体と敷地造成。いずれも老朽化、入居者がいなくなったためである。

課の設置条例の一部改正

Q 今回の組織再編の経緯は。

A 市総合振興計画の施策体系をもとに、施策目的から効果的な事業展開ができ柔軟性のある組織になるよう組織を2年ごとに見直すこととしており、30年度がその年となっているのが経緯である。課名変更1件、係移管1件、係新設1件、係統合1件、係名変更が10件。この議案関係は課の事務移管が2件である。

新市まちづくり計画の一部変更

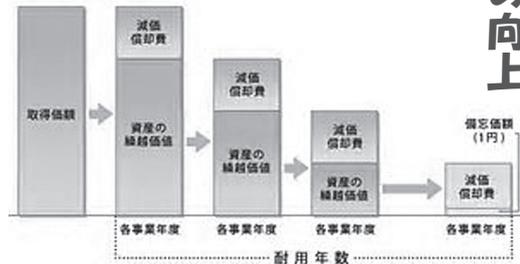
Q 主な変更内容と理由は。

A この計画変更は、合併推進債（借金）を使用する期間が5年延長されたことによるものである。変更内容は3つで、①計画期間を35年度まで延長②財政計画の推計値の見直し③市公共施設総合管理計画との整合性を高める公共施設適正配置・整備である。

公共施設の効率的な統廃合、 かつ市民サービスの向上



谷山 大介 議員



財政を圧迫する「減価償却費」

新市まちづくり計画の一部変更

Q 新市まちづくり計画にある「公共施設の適正配置と整備」の変更は、伊佐市公共施設等総合管理計画に基づいて老朽化の団地、施設等を再編するためとの解釈でよいか。

A そのとおりである。伊佐市公共施設等総合管理計画に基づいて行っていく。

Q 市民サービスへの影響は。

A 伊佐市公共施設等総合管理計画では「市民サービスの向上と効率的な管理、利便性の向上」も方針にある。市民サービスへ影響はない。

市民の身近な学習拠点、 図書館の本の充実



畑中 香子 議員



課の設置条例の一部改正

Q 組織体系を変更するメリットは何か。

A これまでの行財政改革は「組織」を第一にしたものであったが、「財政」を前提に考え、

行財政改革の役割を公共施設などの資産や借金
の負債データをもつ財政課に移すことによ
って、市が破たんしないよう財政力に見
合った行財政改革を行えるようになる。

過疎地域計画の一部変更

Q この計画にある図書館整備事業の内容は。

A 計画の一部変更は図書購入を行うもので、
財源として有利な過疎対策事業債（借金）を
利用するために計画の変更を行った。身近な
学習の拠点として、市民のニーズに応じた図
書の充実をはかる必要がある。

環境計画で伊佐市の環境を守る



武本 進一 議員



環境衛生費の印刷費

Q 印刷費の内容は。

A 伊佐市環境基本計画を作成する。職員で
構成する作業部会で検討、計画素案を諮問機
関の市環境審議会で意見を踏まえ作成する。

伊佐の環境の将来像を「自然と融和した快
適な生活空間づくり」とし、6つの重点プロ
ジェクトを定めて、伊佐の環境を次世代に引
き継いでいくというものである。

Q この計画の周知方法は。

A 発行部数を1000部予定し、配布先は
事業所、コミュニティ協議会、自治会、学校
など。「学校の教材として取り入れ環境教育
を」という市環境審議会の意見もある。

衛生費の塵芥（じんかい）処理費の修繕料

Q 修繕料の理由は。

A 宮人のリサイクルプラザと一般廃棄物最
終処分場の7月の落雷破損の設備補修である。

施策に合わせた市民にわかりやすい組織に
総務産業委員会 審査報告



今村 謙作
総務産業委員長

第78号 一般会計
予算の補正(第4号)

委員会での採決
「可決すべきもの」

市道鶴泊2号線改良工事(湯之尾) 1億円減額
【委員】 減額の理由は何か。
【建設課】 旧河川に架かる現在の湯之元橋を撤去・盛土をし、道路を新設する事業である。工事中的仮設道路をつくるにあたり川内川河川事務所との協議に時間を要した。湯之元橋の撤去と道路新設は30年度に延期し、今年度は仮設道路設置のみとなったため工事費予算1億円を減額した。

国有林の造林・間伐、
契約自治会に交付

【委員】 361万円増額の
内容は何か。

【林務課】 国有林を国と市
で造林・間伐契約(国3
割、市7割)しているが、

市で行う部分について田原自治会が代わって行う契約をしている。その造林・伐採が田原自治会で完了したので交付金を支払うものである。

農政課 第12回全国和牛
能力共進会に向けた優秀
な牛を持つ農家に対する
補助金。年間に優良メス
牛10頭、肉用牛肥育技術
実証3頭の補助をする。

起業の希望者への
積極的な支援

【委員】 市街地商店街活
性の補助金700万円は
どのような内容か。

【企画政策課】 まず200
万円が、創業セミナーを
受講された方のうち、起
業を希望された2人に対
する空き店舗活用補助金。
残りの500万円が別の
商工業者2社に対する浄
化槽新設補助金である

第82号 農業集落排水
会計予算の補正(第2号)

委員会での採決
「可決すべきもの」

生活排水を安全な水に処理
放流しきれいな川を守る
【委員】 工事費100万円
の内容は。

【建設課】 公共マス※5カ
所設置分である。新規加
入を5件と見込み計上し
た。

第83号 市の課の設置
条例の一部改正

委員会での採決
「可決すべきもの」

【企画政策課】 市の組織
体制の見直しである。
伊佐市総合振興計画
の施策(しさく)体
系をもとに、効果的
な事業展開を行える
よう再編した。また
住民サービスの向上
になる。

第86号 過疎地域計画
の一部変更

委員会での採決
「可決すべきもの」

内容は、図書購入(新
刊蔵書や二冊のある
本の購入)に、返済に
有利な過疎対策事業
債という借金を充てる。
そのための過疎計画変
更である。

第85号 新市まちづくり
計画の一部変更

委員会での採決
「可決すべきもの」

【委員】 計画内の財政計
画の基本的な考え方は。
【企画政策課】 財政調整基
金(財政難に備えた
市の蓄え)は、庁舎
建設や国からの地方
交付税減少見を考慮
すると20〜30億円は
残したい。

陳情第1号 市有地の
百条委員会…陳情書

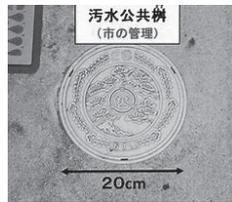
委員会での採決
「可決すべきもの」

正式陳情名、不採択と
した。理由はP10下段
に、百条委員会の意味
はP16上段に記載。

陳情第2号 市道湯之尾…
「緑の回廊」…陳情書

委員会での採決
「可決すべきもの」

正式陳情名、不採択と
した。理由はP11上段
に記載。



右：公共マス
左：地上からみた公共マス

田中ふるさと館に隣接する土地を購入 文教厚生委員会 審査報告



森山 良和
文教厚生委員長

文化会館ステージ照明、
操作機器の老朽
きれいな環境を保つ、
指定ごみ袋

委員 備品購入費の約99万円減額理由は。

文化スポーツ課 文化会館のステージ照明調光操作機器の取替において、オーダーを予定していたが、文化会館設備が古すぎて既製品の機材購入で対応できたので、予算額よりも安く済んだ。

第78号 一般会計 予算の補正(第4号)

委員会での採決
「可決すべきもの」

図書館司書の資格を取る

委員 民生寄附金の内容。
こども課 児童手当を支給する際に、受け取られて、それをそのまま寄附されたものである。

委員 報酬を増やし、賃金を減らした理由は。

小学校英語教育に大切

委員 印刷費9万1000円増額の理由は何か。

学校教育課 3年間の研究をまとめた冊子、及び文部科学省から出た3・4年生用、5・6年生用英語科教育の教材である。

委員 報酬を増やし、賃金を減らした理由は。

ごみ袋作製費の565万円減額理由は。

委員 当初多めに予算計上している。しかしごみ袋販売委託先の中で大量納入する大型店舗などでは販売数量が変動しやすく当初見込んだ数量より大きく増減しやすい。また、製作費においても、ごみ袋の主な原料である原油価格の変動にも大きく影響を受ける。

環境政策課 当初多めに予算計上している。しかしごみ袋販売委託先の中で大量納入する大型店舗などでは販売数量が変動しやすく当初見込んだ数量より大きく増減しやすい。また、製作費においても、ごみ袋の主な原料である原油価格の変動にも大きく影響を受ける。

委員 報酬を増やし、賃金を減らした理由は。

学校給食センター、常にメンテナンスや修繕を！
委員 修繕費35万円の内容は。

給食センター 食缶洗浄機に残菜の処理装置がついており、そのベルトやベアリングの交換。もう一つは、LPガスの調整器が2台あり、その交換修理である。

委員 報酬を増やし、賃金を減らした理由は。

第80号 介護保険会計
予算の補正(第3号)
委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 報酬を増やし、賃金を減らした理由は。

請願第2号 教職員定数改善と…意見書
採択の要請について
正式請願名はP1
委員会での採決
「可決すべきもの」

委員 報酬を増やし、賃金を減らした理由は。

賛成意見・反対意見

討論(とうろん) 12月22日最終日

採決(議案に対し可決か否決を決める)の前に、議員が賛成・反対のどちらかで自分の意見を述べる。

「陳情第1号 市有地賃貸：百条委員会：陳情書」(正式な陳情名はP10)

※百条委員会とは

地方自治法第100条に基づいて議会が設置する特別委員会。自治体の事務について事実関係を調査する。関係者の出頭や証言、記録提出を求めることができるなど強い調査権限を持つ。

賛成 畑中 香子議員

28年12月議会でのこの案件を議決したが、その当時、太陽光発電における蓄電設備を含めた初期投資額、20年間の売上見込、国からの補助金などの説明もなく、土地貸付料減額が妥当性に欠けるといふ判断は不可能であり、議決後にわかったことである。百条委員会を設置し減額の根拠、減額決定までの過程を解明する必要があり、陳情書の採択を求める。

反対 柿木原榮一議員

発電事業者には責任のない設備投資増による変更後の事業計画では大幅な経営悪化が想定された。そのため

貸付料収入が入らなくなること回避すべく、年間損益が当初計画と同程度になるよう50%減額の土地貸付料としたものである。この市長の裁量的行為は妥当性を欠いているとはいえず28年12月議会でも可決されている。百条委員会設置の必要はない。

賛成 谷山 大介議員

28年12月議会での議決は、減額の根拠や決定までの過程などの説明がないことによるもの。偏った説明による議決は、地方自治法第96条による議決であっても、適正でない対価によつての財産の譲渡、貸付の議案の議決は無効であるという過去の最高裁判例にある。よつて百条委員会を設置し疑惑の解明が必要であり、採択すべきである。

反対 前田 和文議員

この貸付の土地は利用価値が低く、土砂たまり積場である。少しでも土地の有効活用、貸付料収入があるということで、減額貸付の議案を28年12月議会でも議決した経緯がある。

「陳情第2号 市道湯之尾：歩道と『緑の回廊』：陳情書」(正式な陳情名はP11)

賛成 畑中 香子議員

※反対の討論なし

この箇所は児童生徒の通学や共同浴場に通う際に歩道がなく危険である。国体力又一競技も控えている。また「緑の回廊」事業は中途で終了している。よつて採択すべきである。

12月議会の議案・陳情等の中で、賛成と反対に分かれたもの

○は賛成、●は反対

※議長のため賛成・反対には参加しない。

議案番号	議案	議員氏名																		
		谷山 大介	武本 進一	岩元 努	井上 文雄	森山 良和	今村 謙作	山下 和義	森田 幸一	緒方 重則	久保 教仁	前田 和文	畑中 香子	沖田 義一	鶴田 公紀	柿木原榮一	福本千枝子	植松尚志郎	左近充論	
63	一般会計 28年度決算認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
87	議員報酬等の改正 (P10に正式名称)	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
89	一般会計 補正予算9号	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	※
陳情1	市有地・・・陳情書 (P10に正式名称)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
陳情2	市道・・・陳情書 (P11に正式名称)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	

伊佐市政の発展のために

一般質問・・・議会に出された議案を含め、 市政について疑問点をたずねたり提案する。

一般質問には3つのタイプがあります。

- ① **政策提案型** ～現在の制度や事業の改善の提案、または新たな施策を導入する提案。
- ② **質疑一貫型** ～施策や事業について終始、説明や考えを求めるだけのもの。
- ③ **自己主張型** ～答弁に関係なく、自分の考えを主張することが重要。①と判別がしにくい。

12月5日	畑中 香子		17ページ
	柿木原 榮一	・ 森田 幸一	18ページ
	緒方 重則	・ 岩元 努	19ページ
12月7日	久保 教仁	・ 鶴田 公紀	20ページ
	前田 和文	・ 谷山 大介	21ページ
12月8日	山下 和義	・ 福本千枝子	22ページ



問 建設費用3億3500万円、蓄電設備建設で7億1400万円ある。

答 当初事業計画から実施内容が変更されたため賃借料の減額にあたり算出根拠が明確である固定資産評価額を基準として説明をした。補助金額は2億4000万円、蓄電設備の半額相当である。

問 市有地を林建設に太陽光発電用地として減額貸付し、20年間の地代5400万円を2040万円にし、3360万円減額である。契約額年270万円だったのが、評価額204万円の説明がなくて、補助金や融資の説明は一切なかった。建設費7億1400万円のうち蓄電設備補助金が2億4000万円あったのでは。



地代減額は妥当か
市長／財産の効率的活用だ
畑中 香子 議員

問 建設費は自己資金でも融資でも会社の都合であるので市に

答 建設費は自己資金でも融資でも会社の都合であるので市に

万円の費用を投じたとの説明であった。蓄電設備に2億4000万円の補助があったのであれば新たにかかった費用は3億7900万円ではなく、1億3900万円である。また、国の融資は金利1.3%と有利である。年間売上5000万円だが、累積赤字回収が10年かかり事業継続が危ぶまれる事態となったとの判断は、融資額も入れた上での計算か。

問 夏場は肉の傷み早い。条件として捕獲後午前9時までには血抜き、2時間以内に搬入、銃で駆除したものは利用できない。人件費等を考えると今後の検討課題である。

答 夏場は肉の傷み早い。条件として捕獲後午前9時までには血抜き、2時間以内に搬入、銃で駆除したものは利用できない。人件費等を考えると今後の検討課題である。

問 鳥獣処理センターは年間のうち11～2月の稼働だが、鳥獣被害対策として通年稼働し、効果を上げるべきではないか。

答 鳥獣処理センターは年間のうち11～2月の稼働だが、鳥獣被害対策として通年稼働し、効果を上げるべきではないか。

通年稼働で「捕獲処理」の「流れ」を「流通」消費の「流れ」を



伊佐市の学力は大丈夫か 市長／課題解決に取り組む

柿木原 栄一 議員

問 平成29年度全国学力調査結果が広報「伊佐の学校教育No.13」に記載されている。中学3年生の平均正答率として、伊佐市平均が全国平均と比べ、国語A5%、国語B12%、数学A16%、数学B12%、全て劣っている。教育委員会はどうか考えているか。

答 教育委員会として最も重要課題である。特に国語では文章問題の読解力、数学では解答の導き方を記入する問題において正答率が低い。学習時間の確保を家庭と連携して取り組む必要がある。

問 過去に学力向上の数値目標を学校、家庭に示したことがあったが、今年度以降、対策はあるのか。

答 各学校で数値目標を、学力向上に向け、5239万6200円で前年11月末比が件数483件、

掲げて取り組んでいる。

平成29年度全国学力調査平均正答率

※中学3年生 (数字は%)

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
伊佐市	72	60	49	36
全国	77	75	65	48
全国比	-5	-12	-16	-12

ふるさと納税の 未来の展望

問 今年度のふるさと納税の状況及び傾向を伺う。

答 寄附は11月29日時点で30001件、5239万6200円で前年11月末比が件数483件、

約170万円の増加で、1件当たりの寄附単価が下がって小口の寄附が増えている。

問 野田総務大臣が先の未来を考える「講演の中で「ふるさと納税者の裾野を拡大させ、地域の活性化になる好循環を生み出した」と演説していた記事が新聞に掲載されていた。今後の施策はどのように考えているのか。

答 総務大臣書簡「ふるさと納税のさらなる活用について」で、「①ふるさと納税の使い道を地域の実情に応じて工夫し、趣旨、内容、成果を明確にする、②納税者と継続的なつながりを持ち、交流人口増加や移住定住促進につながるよう取り組む。」と

ある。情報発信しながら交流ができないか検討していきたい。

田中小前まで カラー歩道にせよ

市長／関係機関と協議し検討していく
森田 幸一 議員



菱刈小学校前の路側帯をカラー舗装にした。

問 市道菱刈重留線の旧農協北部支所前三叉路から田中小学校前までの区間は狭く、車道に中央線を引けないために歩道に車が割り込む場合がある。また、車道と歩道の境に縁石、ガードレール等がないので、危険を伴っている。このスクールゾーンの通学歩道にカラー付けできないか。

答 この通学歩道はかなりの距離になるので、費用がどれぐらいかかるのか警察の意見も聞き検討していく。

問 スクールゾーンの通学歩道にカラー付けし、安全対策に取り組んでいる自治体もあるが、本市の取組状況は。

答 警察と協議のもと、平成24年度交通安全施設整備事業で、



通学路の点検と対策を

問 すばらしい夢を抱いている子どもたちに、安心安全な交通安全対策を講ずるために市内小中学校の全通学路の点検を行い、一刻も早い危険箇所の改善に努めることが急務であると考えますが。

答 毎年、年度初めにPTAや地域関係者と通学路点検をし、対策が必要と思われる箇所について平成26年度から3年間全ての小学校区の合同通学路点検を行っている。

問 危険箇所改善要望が何件で、うち何件が改善されたか。また改善されなかった箇所は何が原因か。

答 各学校の通学路点検の結果、20箇所の対策箇所があげられ、関係職員で点検をし対策を検討した。歩道設置、外側線・ゼブラ帯等の設置で年内に20箇所全て対策を行った。

入居基準見直しは できないか

市長／県内統一の判断である

緒方重則 議員



問 市営住宅の入居資格条件の中に「現に同居し、又は同居しようとする親族に小学校就学の始期に達するまでの者がある場合」という収入基準の定めがあるが、見直しも含め現在の対応は

どうなっているか。

答

公営住宅は、住宅に困窮する低所得者に対して供給される住宅であり、一定以下の収入であることが入居資格と定められている。

この収入基準は、小学校就学前の子のいる世帯に対する緩和措置である。鹿児島県内において、県営住宅条例及び各市町村の住宅条例で、統一した基準となっているため、条例の見直しは適当ではない。小学校入学時点で即、退去ではなく、その後3年以上居住した後に、入居待ちがない場合等は地域の状況や就学の状況などから柔軟に対応することとしている。

観光客が使える レンタサイクルは

問

自転車を利用して市街地での買物や通院、名所巡りなどできるような取組

みは考えられないか。



答

移動の利便性向上に繋がる公共交通手段の一つとして考えられる。経済的負担の軽減、健康増進と医療費削減、CO2削減などの利点がある反面、利用者の安全確保、自転車の管理など課題もある。需要と安全対策としての専用道路や駐輪場の設置等、費用対効果を考えた場合、かなり厳しいのではないかと。公の機関が一つの施策としてするには安全の確保が一番問われると思う。



問

第1次伊佐市総合振興計画（後期基本計画）の「施策No.8 観光・交流の振興策」について、施策の課題として観光資源の掘り起こしや有効活用を図るとし、近隣自治体と連携をして観光客の誘致に取り組む必要性を示しているが具体策は。

答

新しい資源の掘り起こしは厳しいものがある。DMOが曾木の滝を中心にした特産品開発を後押しすること自体が一つの新しい資源であり、カヌーや修学旅行で交流体験型観光が具体策であり、さつま町との連携はその方向性に合っている。

問

霧降の滝も観光資源の掘り起こしの観点から地域の期待も



羽月西校区にある「霧降の滝」、馬渡橋から1km下流、落差15mの豪快な滝

「霧降の滝」 観光資源になるか

市長／観光資源としての位置付け判断できない

岩元 努 議員

膨らんでいるが、市として周辺整備の設計案を示せないか。

答

観光資源としての位置付けは、まだはっきりとした判断ができない。今まで共生協働のまち、コミュニティが年次的に整備されており、羽月西コミュニティの自主性をまず尊重しながら、話し合いで持続的な存続の支援を考えていく。

ブランドデザインで どう変わっていく？

問

DMOのブランドデザインで曾木の滝周辺がどう変わっていくのか。

答

曾木の滝周辺を自然の魅力を生かしたゾーン、鶴田ダム方面を現代的・人工的な魅力に重点を置いたゾーンとして整備する方針。曾木発電所遺構周辺に野草活用やジビエ料理、グランピング（高級的なキャンプ場）など、旧かっぱ亭周辺に古民家風の茶屋など設置しオープンカフェ、宿泊も想定した整備で滞在型観光を展開し、交流人口の増加や関連産業の活性化を目指す。DMOの提案で、事業費は今後示す。



和牛日本一の連覇を！
市長／県・市の連携で出品を目指す
久保 教仁 議員

問 昨年の第11回 全国和牛能力共進会で、鹿児島県の和牛が団体優勝を果たし、名実ともに日本一の和牛となった。5年後に鹿児島でこの大会が開催される。伊佐市ではこの共進会出品対策事業として12月補正で補助制度を設けた。この事業の基本的な考え方を伺う。

答 共進会の候補牛となる優良繁殖雌牛の導入と肥育技術の実証への補助。平成33年度までの県の補助が100%の事業。各年導入1頭に5万円を10頭分、実証支援1頭につき2万5000円を3頭分の補助である。



問 この出品対策事業と、これまでの子牛品評会における保留・秀賞牛に選定された優良雌牛保留導入事業はどのように違うのか。

答 県の補助は、市の補助事業の対象となった牛の中から県の補助要件を満たすものが対象牛とされるので、県・市の補助が共に受けられる和牛が年間10頭は出てくる。

問 どうなる？牛舎建設、イージーブリード補助 ※イージーブリードとは牛の繁殖のためのホルモン剤

問 牛舎建設補助が6年目を、イージーブリードの助成が3年目を終え、見直しの時期だ。これらの事業の成果と5年後の鹿児島全共への出品を目指すことを考えると、事業を継続すべきではないか。

答 5年後の鹿児島全共はもちろんです、子牛の産地として全国にアピールするために、優良雌牛保留導入事業・牛舎施設整備事業・イージーブリードについては、見直し等の改善を図りながら継続していく意向である。

新庁舎建設の許認可状況は
市長／新庁舎建設検討委員会で計画を進める
鶴田 公紀 議員



け、駐車場の確保等を考慮すれば、場所の選定はある程度の面積が必要だが、庁舎建設時期、規模、場所等を示せ。

答 平成29年度に庁舎建設基本構想設定、候補地の選定を検討委員会及び地域審議会で協議する。30年度に基本設計に着手し、35年度に完成に向けて進める。市民にとって利便性の高い複合的な役割を担う施設を基本とし、他施設との有機的補完、財政的負担、土地利用規制や許認可、文化財包蔵地や災害想定区域外、交通網の再編の可能性なども考慮し計画を進める。

問 以前の議会で、市の公共施設管理計画・財政計画の変更、地域審議会の開催、県と協議し、議会議決後に国の許可を得るという手順ということであった。庁舎機能の充実、防災拠点の位置づ



問 市制10周年記念式典日と場所及び式典内容は。

答 平成30年11月11日(日)、文化会館大ホール。平成25年度の5周年式典を参考に同規模を予定。詳細は式典検討委員会ですべて行く。国会議員をはじめ800人程度の予定。その他にコンサート、NHKの歌番組の公開収録、ふるさと大使による催し等は日程、内容、予算を検討中。伊佐の郷土に尽力した先人の功績を副読本にして小・中学校の児童・生徒の学習用に計画している。

問 10周年記念誌発行は。

答 記念誌編さん委員会構成内容を検討中。20ページ前後のオールカラーA4版サイズ。平成30年9月頃に全戸数配布を予定している。

曾木の滝主体の 観光開発を急げ

市長／DMOは観光地域づくりの舵取り役
前田和文 議員



問 河川を使う観光は、市、県、国が協力をしないとできない。今ある基本構想を地盤に持ちながら、まずDMOの懷に、民間のいろんな意見も取り入れ、迅速に具現化に向け、吟味・取り組んでいかないと、伊

佐市の観光・曾木の滝開発は、どんどん遅れてしまつと思うが、見解を問う。

答

ある民間会社の方には、「民間資金で、曾木の滝の真上に引くジップラインなどの遊具施設をつくりたい」との話がある。話し合いの上、他の場所にその施設をつくり、収支が合わなくなつた時は、行政やDMOが不足分をみるのかという話にも進む可能性もある。



ワイヤーを滑車で滑る「ジップライン」

問

グランドデザインを示しただけでは、曾木の滝観光開発は、いつまでもただの

絵に描いた餅に過ぎない。地元が稼げない、地元の商店街にも波及効果が及ばない、市民にとって何のために曾木の滝が開発されるのか、市、県、国による資本投下があつても、地元で還元されるものが見えてこないと思う。

答

「コーディネーター」としての役割を果たさないと民間資本は投下されないと懸念する。自然を生かしながら未来につなげるものを模索していく必要がある。

答

DMO(株)やさしいまち)のコンセプトに合ったものでなければ難しい。

問

今後の活動支援は。

答

行政が抱え込むのではなく、行政とは信頼関係を持ちながら、全国で活動することを期待している。

市民の誇り、チームちむとん継続を



幼児医療費 日本一高額の認識を

市長／その認識はない

谷山大介 議員

問

前回の議会で「乳幼児医療助成制度はしたい気持ちはある」と答弁している。気持ちに変わりはないか伺う。また、伊佐市独自の助成は3歳未満のみとなっている。拡充しないか伺う。

答

その認識はない。またまだ考えていない。

答

「やりたい」と「できる」は違う。人間であり、やさしい心があれば、やりたい気持ちはある。できるものであれば、やるに越したことはない。拡充については現在のところ考えていない。

問

子ども医療費無料化に関して日本一遅れていると認識を持っていて伺う。また、28年度決算では、財政調整基金は約58億円、減債

冷暖房で環境改善を!

問

学校保健安全法では学校衛生基準を守ることで教育活動が安全な環境で実施され、円滑になり、成果の確保ができるように役立ててほしいと書かれているが見解を伺う。

問

伊佐市にある全ての幼稚園、小学校、中学校にエアコンを取り付けないか伺う。

答

現在のところ考えていない。伊佐市には相当数の学校があり、冷暖房の設置をする、相当の経費もかかる。冷暖房設備をつくとすれば、建物の総合整備計画を参考にして考えた。また、市の予算だけで設置するのは非常に無理なものがある。つまり大規模改造とか、国のお金が頂けるようなものがあった場合に、校長から希望があれば考えたい。



入学準備金、 早めの支給を！

教育長／支給時期を早め、増額も検討
山下和義 議員



年度から増額を検討している。30年度は入学後早い時期に支給できるようにしたい。



問 平成31年度以降についての考えは。

答 平成31年度からは、支給の条件等を整備して前年度の3月支給を検討している。

等について充実できないか。

答 各コミュニティの運営費に

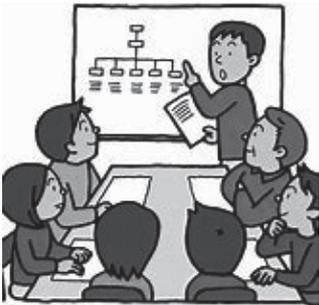
ついては、市からの補助金額算出において一定の算定基準を定めており、役員手当の基準額も定めている。

ただ、役員体制や部会数など各校区さまざまであることから、各校区独自で規約をつくり、そのなかで役員手当が支給されている。補助金の要望等については、お互い議論し改善できる範囲で対処したい。

自治組織、 コミュニティ協議会

問 各校区の地域づくりはコミュニティ

二テイが重要な役割を担っている。役員手当



【その他の質問】
・伊佐市財政の課題



問

平成30年11月で市制10周年を迎える。伊佐市のかじ取りを託された市長の9年間の成果と課題について伺う。

- ① 農業所得は向上したか、また今後の農業は。
- ② 合併後、商店街は変わったか。
- ③ 若い世代が住宅を建て定住することにつながる木造住宅整備事業は大きな成果である。事業の継続はできないか。
- ④ 滞在型観光の具体策、また※フットパスの検討は。
- ⑤ 子ども医療費の無料化は。
- ⑥ 高齢者の福祉タフシール券の配布の見直しは。
- ⑦ 医療費削減の施策は。
- ⑧ 今春卒業予定の高校生の地元企業の採用の状況と採用を増やす手立は。
- ⑨ 地域おこし協力隊の申込状況は。

答

① 水稲、大豆、露地野菜、畜産などの複合経営で所得が安定し向上した。今後WCSと水稲を平行して推進する。

② 店舗数はあまり減っていない。創業セミナーを受講された方のうち3人が起業した。

③ 子育て世代に重点を置く。何らかの形で継続したい。

④ 曾木の滝に古民家の移築、板倉の整備で宿泊も可能な構想もっている。

⑤ 今は考えていない。

⑥ 今までいろいろ検討したが難しい。

⑦ 健康課題は脳卒中対策であり運動を習慣づけるよう取り組む。

⑧ 大口高7人、伊佐農林高7人である。本年度合同企業説明会を実施した。

⑨ 現在2人で、継続的に

合併9年、 その成果は？

市長／国の支援で、大きな合併効果

福本 千枝子 議員

募集していく。

伊佐市が存続していくための財政調整基金

問 財政調整基金の考え方は。

答 各年度の剰余金を財政調整基金に積み立ててきたが、28年度末に58億円に減った。庁舎建設や既存の公共施設等の更新は地方債（借金）だけでなく、基金を活用していくので基金は減少していく。



基金は減っていく

※フットパスとは
自然を楽しみながら散歩できるような歩道

答 準要保護の児童生徒の新入学用品等については、30

問 平成30年度の入学準備金を3月に支給できないか。



どうなった？あの一般質問



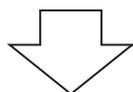
過去の議員の一般質問が市政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡しました。

①低所得家庭に入学準備金、 早めの支給で支援

平成 29 年 3 月議会 山下和義 議員

質問 7月に支給している低所得者向けの入学準備金を他の市町村と同じく3月に支給できないか。

答弁 手続きの問題を解決し、家庭の支援にもなることから3月の支給を検討する。



こうなった

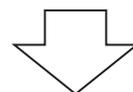
平成 30 年度は入学後早い時期に、31 年度からは入学前に支給をするような検討がされている。

②情報通信社会に対応した、 学校教育の充実

平成 29 年 3 月議会 岩元 努 議員

質問 ICT (情報通信技術) を活用した学校教育に取り入れるための整備計画は。

答弁 教育内容の充実と ICT 社会に対応するため、10~12 月にかけてタブレットを導入していく。



こうなった

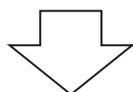
市内小中学校にタブレット設置済みである。

③「主役は子ども」を念頭に、 地域の力を学校運営に

平成 29 年 3 月議会 武本進一 議員

質問 生活困窮者世帯の子どもの学習支援はできないか。

答弁 土曜いきいき講座の継続と、コミュニティスクールという体制で取り組みたい。



こうなった

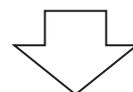
市内 5 つの小中学校でコミュニティスクールが導入された。

④外国人観光客の増加を！

平成 28 年 3 月議会 沖田義一 議員

質問 伊佐市へ外国人観光客が増えるような具体的な方策は。

答弁 市内の最大の観光地である曾木の滝公園に無料インターネット接続 (Wi-Fi) 整備を急ぎたい。



こうなった

曾木の滝公園に Wi-Fi が整備された。

ぎかいのとりくみ

シルバー人材センター役員の方と議員の懇話会

(11月7日 ふれあいセンター 3F)



**注文の仕事に対応するには、
会員数がまだ足りない**

シルバー人材センター役員の方々と
質問や意見を交わせていただきました。
主なものです。

- ① ふるごとを守るおたすけ事業による空き家に関する市との情報共有
- ② ふるごと納税の企画ができないか
- ③ 作業中の周辺への危険防止管理
- ④ 空き家や墓地の掃除、音読計算や健康体操の高齢者認知症予防事業
- ⑤ 注文を受けた仕事の数に比べてシルバーセンターの会員数が足りない
- ⑥ 今後の事業経営、会員の事故防止



阿久根・水俣・伊佐・出水4市議会議員研修会

(11月10日 出水市・鶴丸会館)

テーマ「食料・農業の情勢を踏まえた農業改革」

講師：出水市副市長 大橋勇太氏
(農林水産省出身)

- 内容：①国内農業の生産・所得・輸出の情勢
②農業行政の展開（農地中間管理機構、飼料用米の推進、産学官連携の技術革新など）
③生産・流通・加工の改善や輸出拡大、農家の就業構造変化による農業競争力強化



渋谷俊彦 出水市長のあいさつ

議会のマメ知識 Vol.3

閉会中(議会がない月)、議員の活動は？

※3・6・9・12月議会以外の閉会中の議員活動が政策提案、議案審議の充実の力ギになります。

1. 年間を通じた議員の活動

- ① 政策についての日頃の調査研究
(議会での質問、提案に生かす)
- ② 行政や地域との情報交換
- ③ 各議員の特定のテーマでの先進地調査



2. 議会全体として、市民・団体の方々と(昨年)

名称	会議内容	月日
伊佐に特別支援学校をつくる会 意見交換会	保護者からの現状・要望	7月24日
女性団体連絡協議会 意見交換会	高齢・過疎化による地域のあり方	7月27日
菱刈地区民生委員児童委員 意見交換会	高齢者給食サービスほか	8月16日
生涯学習グループ「じゅげむ」意見交換会	ゴミ環境マナー、特別支援学校誘致など	10月13日
シルバー人材センター 懇話会	シルバーセンターの現状・課題	11月7日

3. 議会全体の内部的活動(昨年)

1. 議会だより編集の議会広報委員会(随時)
2. 議会の運営を決める議会運営委員会(随時)
3. 文教厚生委員会所管事務調査
4. 総務産業委員会所管事務調査
5. 特別支援学校誘致調査特別委員会の出水養護学校視察
6. 南九州中部市議会議長会議員研修会
7. 池畑県議会議員と伊佐市議会の語る会



昨年8月30日
池畑県議と伊佐市議の語る会

「伊佐市観光推進議員連盟」発足へ 観光のあり方を研究・協議し 伊佐市の経済につなげたい



フライボード(左写真)
水上バイクから噴出の水圧
で空を飛ぶ
(フライボードはP21写真
「ジップライン」と関連)

- 【目的】官民一体となった新しい観光のあり方を研究・協議し、経済活性化に寄与する
- 【構成】伊佐市議会議員が対象
- 【活動】会議や調査を踏まえ議会での提案、関係機関への要望などを想定

3月議会のスケジュール

2月23日(初日) ①議会に議案を提出、市長による議案の説明、
施政方針の説明

2月28日(2日目) 議員の一般質問

3月5日(3日目) 議員の一般質問

3月7日(4日目) 議員の一般質問

3月8日(5日目) 3月1日に議会提出された議案への質疑

3月9日 文教厚生委員会(福祉、介護、衛生、教育など審査)

3月12日 総務産業委員会(総務財政、農林、土木、商工業など審査)

3月14日 一般会計予算特別委員会

3月15日 一般会計予算特別委員会

3月16日 一般会計予算特別委員会

3月19日 一般会計予算特別委員会

3月23日(最終日) ①9～19日の委員会議案審査の結果を報告

②議案の採決(可決か否決か)

市の施策について提案

30年度一般会計予算の審査

議員辞職あいさつ



昨年の12月議会をもちまして、一身上の都合により議員を辞職させていただくことになりました。
わずか1年の議員活動でしたが、市民の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

井上文雄

編集・発行責任者

議長	左近充	諭
議会広報等特別委員会		
委員長	畑中香子	子
副委員長	武本進	一
委員	久保教仁	仁
	谷山大介	介
	前田和文	文
	植松尚志郎	尚志郎



議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓
【伊佐市議会】

↓
【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・
ふれあいセンター・まごし館でも
議会ライブ中継 をご覧になれます。



編集後記

市民の皆様にはいろいろ御協力
頂き誠に有難う御座居ます。

市議会だよりを多くの方々に読
んで頂きますと、市政に関心が高
まり、多くの方々の御意見等が出
て来ますので、市民のための市政
になると考えます。

是非、伊佐市議会だよりを讀ん
でください。市議会だよりを讀む
事は市政に参加することであり、
市民のためになる事でもあります。

植松 尚志郎

